

## 第 75 回日本温泉気候物理医学会学術集会会長挨拶

第 75 回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会会長  
国際医療福祉大学 保健医療学部 作業療法学科  
同大学院 リハビリテーション学分野 教授  
前田眞治

青葉が繁る那須塩原の地にて、第 75 回日本温泉気候物理医学会学術集会を開催いたします。

塩原温泉は、北関東に位置し多くの泉源と泉質がある関東屈指の温泉です。

この塩原温泉は多くの先人の先生方が当地で温泉医学の研修をされ、世に温泉医学を広めた地でもあります。その塩原温泉で当学会が催されたのは第 2 次世界大戦復興間もない 57 年前の昭和 28 年でした。その地で再び学会を催すことができましたのは、光栄と思っております。

本学会は昭和 10 年から開催され第 75 回となっており、由緒ある日本医学会傘下の学会です。

今回のロゴマークは、ご覧いただいていますように、75 回ということで 1 世紀の 3/4 にあたり、円の 3/4 を露天風呂などに見立て、そこに入浴していることをイメージで表しています。

今回の学会のテーマは「温泉の科学の確立をめざして」ということで、自然を相手にした奥深く困難な学問の中で、温泉医学が科学的根拠に立脚することで、さらに医学的貢献を確実に行うことを願ったものです。

現在 5 年目を迎えようとしている環境省請負事業の「温泉の禁忌症、適応症および注意事項」が順調に進み、昭和 57 年（1982 年）に出された局長通知を見直し、科学的根拠に基づいた基準になるように進められています。本学会ではこの基準づくりの内容や意義、社会的な影響などを考える機会にと、環境省側、温泉分析側、温泉施設経営者側、温泉療法医側から代表を出し、討議ができるようにとシンポジウムを計画しています。また、水中運動療法における科学的根拠と実践を「Locomotive Syndrome の診断と治療」と題して、1 日目の午前中に赤嶺卓哉先生に特別講演をしていただき、水中運動の科学について知る機会といたしました。さらに水中環境や物理療法とも関連が深い宇宙医学について、三井石根先生を中心に、会員の先生方にも大きな関心を持って期待していただきたいシンポジウムを計画しました。2 日目の朝には、モーニングセミナーとして中央温泉研究所で現在実際の分析に当たられ温泉分析の分野で活躍されている滝沢英夫先生による「温泉の分析法」そして、午前中の今橋正征先生に「温泉の化学」と題した特別講演をお願いし、温泉成分の基本について学び、温泉の科学的根拠から温泉医学につなげた理解をしていただきたいと思います。

また、塩原温泉の医学的活用をテーマとして、現在展開されている「塩原温泉ヘルスツーリズム」について、塩原温泉の大塚美昭氏、大塚好一氏に 1 日目のランチョンセミナーでお話いただくことにしています。学術集会終了後の市民公開講演会では、映画”Shall we dance?”などで活躍されている女優の草村礼子氏による「あったかく生きる」と題した講演を予定しています。

今回の学術集会には一般演題 52 題と多数の登録があり、温泉の効果、足浴、水中運動、鍼灸、環境・健康増進、入浴事故などのセッションに分かれて、日頃の研究の成果が発表され、その討議が期待されます。

このような盛りだくさんの当学術集会が会員の方々の実り多い学会であることを願うものであります。